記者発表資料

平成24年　7月31日
酒田河川国道事務所

堤防の徒歩による目視点検結果について

～ 87箇所の異常・変状箇所を確認～

大雨による洪水に備え、6月22日から7月20日にかけて、当事務所が管理する最上川下流及び赤川の延長100kmの堤防を徒歩により、目視点検しました。

目視点検の結果、87箇所の異常・変状箇所が確認されましたが、重大な損傷箇所はありませんでした。

発見された異常・変状箇所で補修等を要するものについては、順次補修等の措置を講じます。 ※関連は、6月20日に記者発表済みです。

※ 国土交通省酒田河川国道事務所では、最上川下流及び赤川の総延長74．7kmを管理しています。100kmは今回点検する左右岸の堤防延長です。

【参考】今回の点検延長（左右岸の堤防の延長）

最上川下流	53．8km
赤　　川	49．8km
合　　計	103．6km

■ 点検方法及び期間

6月22日から7月20日までの15日間、職員4名1組で、堤防を約5～8kmを徒歩で目視点検しました。点検延べ参加人数は61人でした。

■ 点検結果（今回点検の合計は下記のとおり、なお、河川別結果は別添資料参照）

堤防法面の変状（法崩れなど）	66箇所
堤防舗装部の損傷	10箇所
護岸部の損傷	11箇所
	合計87箇所

＜発表記者会＞酒田記者クラブ・鶴岡記者会

お問い合わせ先
酒田河川国道事務所　TEL0234(27)3331
副所長（河川担当）阿部 富雄（あべ とみお）
河川管理課長 木村 満（きむら みつる）

■ 最上川の点検結果

堤防法面の変状（法崩れなど）	30箇所
堤防舗装部の損傷	6箇所
護岸部の損傷	5箇所
	合計41箇所

■ 赤川の点検結果

堤防法面の変状（法崩れなど）	36箇所
堤防舗装部の損傷	4箇所
護岸部の損傷	6箇所
	合計46箇所

主な目視点検結果



点検状況



雨水による堤防浸食



堤防舗装部の損傷
（亀裂の発生）



護岸部の損傷
（すき間の発生）